

自立と共生！

たくましい日本！

No. 213号

民主党 中川正春の **永田町かわら版**

2004年4月1日

〒100-8981 千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館 428号

TEL 03-3508-7128 FAX 03-3508-3428

<http://www.MASAHARU.GR.JP>E-mail g03063@shugiin.go.jp

購読料口座番号（郵便振込み 新政会00880-2-36546）（百五銀行鈴鹿支店 普通442240 新政会中川）

○特別ミッションで韓国、中国へ

ソウル、北京、広州、南寧、上海と5日間であわただしい特命出張をしてきました。

ソウルでは、ファン・ジョンヨブ氏の招致を民主党が選挙後の適当な時期に正式に要請することを、韓国政府に伝える事が目的でした。大統領の弾劾決議に反対するデモが、ソウルの中心部で繰り広げられていたところに出くわしました。元気なシュプレヒコールと同時に、ロウソクの灯を掲げて歌をうたい、整然と腕を組んで行進するスマートなデモを見ながら韓国の政治運動が成熟してきたことをつくづく感じ取りました。

中国では、南寧に拘禁されている日本のNGO北朝鮮難民救援基金メンバーの一人、野口孝行さんへの面会と、同時につかまった元在日コリアンの2人の脱北者の北朝鮮送還を阻止することが目的でした。南寧は、中国の最南端、広西チワン族自治区の省都です。北京で中国政府外交部や共産党の中連部の幹部を通じて本人に会える手立てをつくりましたが、公安当局は、私との直接面会を拒みつづけました。南寧では省の外事弁公室のビン副所長が収容施設へ案内してくれたことと、「去年の韓国の脱北者がつかまった時には、介在していたブローカーが一年の刑だった事から、NGOの野口さんの場合はそれよりも軽いはずだ。」などと説明を受けました。救援基金から預かってきた野口さん宛ての手紙を彼に託して届けてもらう事にしました。最初はこわばった顔で緊張気味に対応していたビンさんも、在日コリアンの境涯と北朝鮮に渡った後の苦難から脱出してきたその厳しさを説明していくうちに、彼なりの心を動かしてくれたようです。「野口さんや難民のために、

しっかりやりなさいと督励することだと思いき、これまでの対応の甘さや中途半端さを指摘しただけで帰って来ました。ところが、ご本人や支援団体の皆さんの思いは、「アメリカの領事館で行われているように、こんな場合には、領事館員が邦人保護の一環として、子供達を学校の帰りに誘拐？をしてでも取り戻して欲しい。」このことでした。

そんな訳で、今回の旅行は、志が十分に達成されず、なんとなく消化不良。しかし、どれもが継続課題だけに、辛抱よく作戦を練り直す事にします。

○ふたたび、高速道路法案**まやかしの民営化**

高速道路の民営化法案が上程されました。

42兆円の借金は、新しく作る清算会社に棚上げして、これまで30年で返済するところを50年に延ばす。今の道路公団は、6つに分割した上で、高速道路を清算会社からリースしてその料金は、通行料を徴収する中から支払う。9342キロの計画路線は、全て建設しつづける。そのうちの一部を国が直接税金で建設する直轄区間とし、残りは、民間金融機関からの借り入れで新会社が建設を続けることとし、その保障を政府が行う。おおむね、政府案はこんなところ。これに従えば、三重県の近畿自動車道紀勢線の尾鷲、熊野間が、国の税金で賄う直轄路線となります。

民主党が前回の選挙のマニフェストで、高速道路の無料化を提案しました。その心は次のような趣旨です。

採算の合わない道路を、金利のつく借入金で建設し続けることは、全体を破綻に導くこ

私にできることはするから。」と言ってくれました。

帰りに上海に立寄ってもう一仕事。家庭内暴力が原因で離婚した女性から、「中国人のもと夫が2人の子供を一方的に連れ去って上海で生活している事から、その子供達を日本に連れ戻す手立てを上海の日本総領事館を通じて実現することを手伝って欲しい。」という内容でした。法的な手続をふんで

とになる。計画を見直して、それでもどうしても必要な道路は、税で建設する。過去の42兆円の債務と高速道路の維持は、一般の公共事業予算から毎年2兆円ずつ取り込んでくる。道路公団は、民間資金で道路建設をするためにつくられた組織であり、ここで民間資金をこれ以上使わないと決めれば、組織は民営化ではなく廃止をするべきだ。このことによつて、高速道路は無料になり、その経済波及効果と地域開発への刺激は莫大なものになる。どちらに魅力を感じていただけますでしょうか。